

# 薪ボイラーで暖房

## 消費電力大幅に削減

小児科「塚田こども医院」（上越市栄町二）に七日、薪（まき）を燃やして出る熱エネルギーを利用した暖房システムが完成し、公開された。熱は院内に五カ所設けたヒーターから出て室内を暖め、スイッチを切っても放射熱で暖をとることができ、「足元も暖まるため、気持ち良い暖かさ」と来訪者にも好評だ。塚田次郎院長は「エアコンと組み合わせ使用が、かなりの消費電力を削減できる」と話す。

塚田院長によると導 足と趣味の薪ストーブ 源にできないかと考えた。知人を頼りチェコ製の薪ボイラーを見つ 入の契機は東日本大震 ち、薪をエネルギー

「小児科の診察は裸同然になることもしばしば。医院に来たのに具合が悪くなる ことがあってはならない」と話す塚田院長



### 「災害時こそ診察をしたい」

### 大震災契機に導入計画

け、温水を貯蓄するタンクと組み合わせ夏から導入を進めてきた。薪は製材時に出る切れ端や間伐材を譲り受け使っている。少量ながらも電力を使うが「自家発電機があるので非常時も稼働する」（塚田院長）。

入。今回導入したシステムと合わせると相当の出費だ。塚田院長は「万一災害があっても電気が止まったら『医療もストップ』というのはおかしい。困難な時こそ患者に快適な環境で診察をしたい。特に小児科診療は患者が裸同然になることもしばしば。風邪をひかせるわけにはいきませんが」と話した。

塚田こども医院



薪を燃やしてできる熱で水を温め、暖房に使う

# 上越タイムス

2011年（平成23年） 12月9日